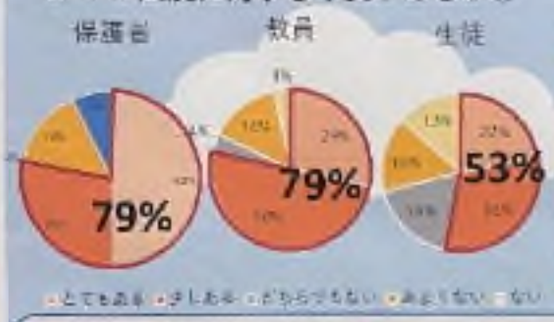
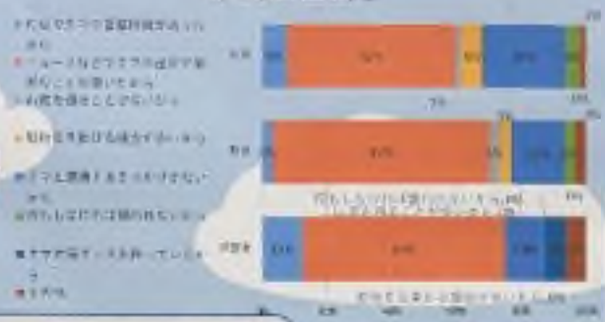
クマへの意識調査！
クマと共生するためのカギとは？

背景： 近年、熊による被害や目撃情報が多数報道されるようになり、東広島市でも複数の目撃情報が出ています。これまでは身近な問題ではなかった熊問題が、他人ごとではなくなってきています。そこで、熊についてのアンケートを行い、熊に対する印象や考えを調べました。さらに熊との共生についても意見を聞き、どうすればお互いにとって一番良いのかを考えるためにこのグラフを作成しました。

クマの出没に対する不安があるか①



不安の理由②



左のグラフ①から、約５０～８０％の人が熊の出没に対する不安を抱いている。その主な理由は、グラフ②から、熊の出没・被害の情報を聞いたからというものが多いね。

クマへの不安が大きいってことは熊にはあまり良い印象がないのだろうか？

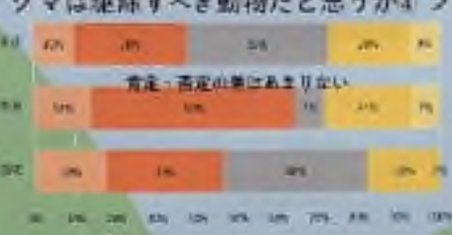
下のグラフ③④⑤から熊は危険な動物であると考える人が多くいる一方、駆除すべきかという問いに対しては考えが分かれている。また、生態系を守るためにクマの保護は必要だと考える人は半数以上いることが分かる。

では、熊とはどう関わっていけばよいのだろうか？

クマは人間にとって危険な動物だと思うか③



クマは駆除すべき動物だと思うか④



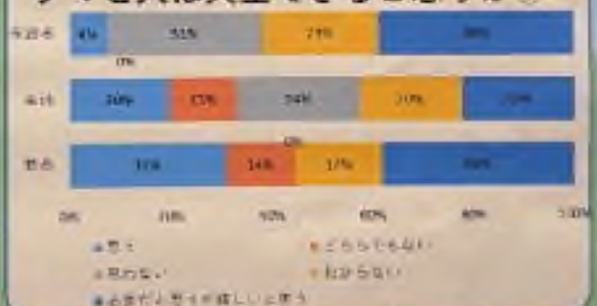
クマの保護は生態系を守るために必要だと思うか⑤



クマが街に出るようになった原因は何だと思うか⑥



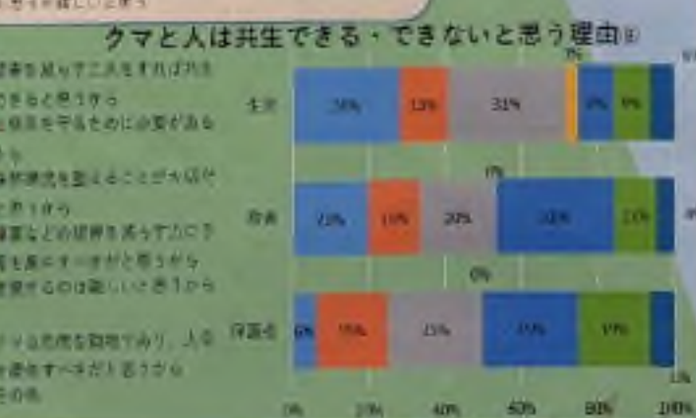
クマと人は共生できると思うか⑦



クマが街に出る主な原因として、
・クマの食べ物がなくなった
・クマの住処がなくなった
と思っている人が多くいることがわかる。

森の整備をすることで出没数は減るかもしれない！

クマと人は共生できる・できないと思う理由⑧



グラフ⑦から、クマと人が共生することができると考えている人は、保護者８％～教員３１％で全体的に少ないことがわかるね。
また、グラフ⑧からは、人がクマと共生していくための工夫や適切な取り組みをすれば、できると考えている人も多いことがわかるね。



まとめ 今回の調査でクマは危険だと考える人や出没の不安を感じる人が多いことが分かりました。一方、クマが生態系を守るため必要だと考える人が約８割もいました。これらの結果から、クマは自然を守ってくれる大切な存在である一方で、関わり方が重要だといえます。過去に中国で「四害駆除運動」というものがありました。害があるからとその害虫を完全に駆除したのですが、かえって不作となり、飢餓で多くの方がなくなってしまいました。この事実は自然界での共生の在り方について、色々と示唆してくれています。人の都合だけでなく、地球上に生きる生物として共生に向けた具体的な対策（例えばクマに人を襲わせない、人里に来させないために、植林や間伐など山の環境整備をすることでクマの住処を守ったり、エサ不足にならないようにすることなど）を行うなど、多面的に共生の可能性を探り高めることが大切だと思います。

参考文献 https://ja.wikipedia.org/wiki/四害駆除運動

調査協力：西条中学校生徒45名、保護者13名、教員29名　合計87名　七月実施